

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	1人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・介護計画作成時や見直し時は、印刷してもらい各職員が確認していく。・申し送り事項は書面に残す、各自が申し送りノートも活用して情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・急な利用や変更に対しても情報共有をもって対応できている。・利用者の経済的状況も含めた個々の事情にあわせたプランづくりができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	7	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	6	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者一人ひとりにおいて困っていることが違うため、ニーズの把握とその実施ができている。・利用者と職員の関係が構築できている/利用者や家族に寄り添う支援ができている/利用者・家族の要望に応えている/職員が明るい

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・新規の登録者数が減っており、サービス終了者もいることから利用者数の減少傾向がある。・情報の共有に対して見落としなどもあるが、複数のツール使用等にて対応している。・ケアの統一/全職員による支援と把握/アセスメントの不足

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・利用登録者の増加のため、事業所およびサービスの認知度向上にあたる。現在も行っているが、特に病院のソーシャルワーカーとの連携、介護老人保健施設からの退所者へのアプローチなどを強化し、事業所の良さや特徴を知ってもらえるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 職員12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	10人	1人	0人	0人

前回の改善計画	
	・御利用者様の声、御家族様の声に寄り添い支援していく中で「～したい」を見つけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・家族の意向に対して寄り添うことができた。 ・終末期の利用者に対しても医療機関と連携し、支援ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	10	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	9	2	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	4	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	4	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・看取り支援については、かかりつけ医、訪問看護事業者と連携し、細かな訪問を通して支援ができています。 ・利用者に適した活動をしている/コミュニケーションの中で把握・対応

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・意思疎通が難しい利用者もおり、家族の意向に利用者本人の意向が隠れてしまっている傾向を認識している。 ・利用者個々の目標の把握/計画の把握と実践

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・意思表示が難しい利用者に対しては細かなことでも「ささやかなしたい」を積み重ねていく、その意識をもつ。 ・家族から更に利用者の以前の嗜好や生活状況を聞き、支援に反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

3. 日常生活の支援

メンバー 職員 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	1	1	12人

前回の改善計画
・御家族様の話や訴えに耳を傾け、その中で介護計画作成時や見直し時は、印刷してもらい各職員が確認していく。 ・申し送り事項は書面に残す、各自が申し送りノートも活用して情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・日中には難しい場合でも夜間帯などを活用して利用者とのコミュニケーションを図っている。 ・ノートだけでなく、メールやラインを活用し、利用者の状況や情報を共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	9	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の健康状態をはじめとする変化についてはつぶさに把握し、対応ができています。 ・職員同士の連携・情報共有/利用者の要望への素早い対応/アットフォームな雰囲気と支援/家族への報告/受診対応・服薬管理を行っている/変化への迅速な対応/丁寧な支援	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の持ち物の渡し間違いをなくす/利用者の体調管理/職員間の連携/入浴方法の改善/利用者の嗜好への負担/職員負担の偏り	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・現在の趣向のほかに利用者が興味を示すものを新たに探していく。それらの把握を午前中の入浴実施時間において実施・反映していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2	6	3	0	12人 (無回答1人)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">御本人様の今の生活に、何が必要か（警察署、包括、民生委員など）検討し、関係機関と連携していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">開設より10年目を迎え、近隣の方、警察署、保育所と連携ができている。法人本部の協力のもと運営推進会議を中心に交流と親睦が図ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	7	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	5	4	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	7	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	6	6	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">警察の方などに運営推進会議に参加してもらっている。家族の協力的な姿勢

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス蔓延防止の影響から地域の行事への参加等が減少している。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">地域からの協力があって利用者の安心な生活が実現している。引き続き友好な関係性を維持する。新型コロナウイルスだけでなく他の感染症も含めた感染状況を見ながらお祭り・防災訓練などの地域行事に参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 職員 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3	7	2	0	12人

前回の改善計画	<p>・地域の資源（配食サービス、近所の方がゴミ出し支援、家族状況などの把握）、お客様の状態に合ったサービスの提供を柔軟にしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・利用者の近隣の方々や家族と連携し、支援の充実を図ることができた。 ・新規の利用者に対して必要な社会資源を見分け、活用することができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	7	3	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	8	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	4	7	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	8	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・遠方の利用者に対しても家族の協力、柔軟な対応により支援ができている。 ・通い、訪問、泊りの3つについて利用者のニーズに合わせた対応ができている。 ・柔軟な対応ができている/通い、訪問、泊まりを柔軟に対応している</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・利用者の状況は日々変化していることからそれらを見分け、柔軟に対応していくことは永続的な課題である。 ・変更事項の周知</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・公的なサービスや介護タクシーなどを活用しながら更に地域資源と利用者を結び付けていくことを目標とする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

6. 連携・協働

メンバー 職員12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	2	6	4	12人

前回の改善計画	
	・町会の活動やイベントに参加して、地域の方との交流を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・オレンジカフェを実施し、地域の多くの方々の来訪が実現している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2	5	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	4	6	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	0	5	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	5	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・運営推進会議に地域の方々が参加している。 ・医療機関との連携により終末期の支援と重度化への対応が実践できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・新型コロナウイルス禍においては、地域との交流が減少している。 ・地域交流の機会の増加/地域との連携

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・法人内認可保育所が隣接しており、以前行われていたクリスマス・納涼祭・ハロウィン等季節の行事での交流、散歩や芋ほりなどの親睦などを再開していくことを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

7. 運営

メンバー 職員12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	3	0	12人 (無回答1人)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">御利用者様、御家族様、地域の方の要望、苦情等を共有し、運営に反映していく。事業所のあり方を時々全職員と確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">地域の要望を聞くことができている。サービスの特性、事業所の役割を認識したサービス提供と支援ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	4	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	6	4	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">運営推進会議に警察署の方々が来訪している。風通しが良い

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス禍において地域との交流が減少している。業務の効率化

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">以前来訪されていたハーモニカ演奏やゴスペル歌唱のボランティアの活動を再開したい。新型コロナウイルスだけでなく、他の感染症の状況や気候を考慮しながら行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 職員12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	4	0	12人

前回の改善計画	
	・各自が「サービスの質の向上」を意識し、研修への参加や情報を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・職員会議の中で資質向上の検証や指導を行うことができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	2	4	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	7	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	4	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・職員会議の中で指導ができている。 ・内部研修を実施することができている。 ・事業所内研修では担当職員が調べ発表している/労働環境への配慮がある/管理職が話を聞いてくれる

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・新型コロナウイルスの影響から外部研修への派遣が減少している。 ・研修に参加できない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・外部研修派遣や自己研鑽の機会が減少したことから機会の付与に努める。特に認知症への理解を深める取り組みを行いたく、外部の講義など過去に実施して好評だった講義などを中心に企画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月9日～10月31日

9. 人権・プライバシー

メンバー 職員12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8	4	0	0	12人

前回の改善計画	
	・身体拘束、虐待について職員間で再認識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・特に身体拘束の機会はなかったが、職員会議等で認識の共有を図ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	9	3	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	2	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・④については現在活用していない

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見の制度への理解や利用は深める事項と認識している。 ・利用者への接遇の改善/利用者の前での発言/プライバシー配慮からの情報不足

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・声掛けの方法については引き続き指導をしていきたい。特に声のボリューム、利用者にもわかりやすい表現方法については日々の支援の中で職員が意識していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秩父福祉会	代表者	内藤 優子	法人・ 事業所 の特徴	「通い」「泊り」「訪問」を組み合わせた在宅生活が継続できるように、支援させていただきます。ご利用者の状態やご希望に添った支援が、できるよう柔軟な対応をさせていただきます。(急な宿泊、急な受診等)併設の保育園との交流や、季節の行事、手作りおやつ、地域のお祭り等にも出向きご利用者様が笑顔になれるよう支援致します。
事業所名	小規模多機能型施設 万葉の郷	管理者	中島 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	人	2人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員1人1人が「サービスの質の向上」を意識し、研修への参加や情報を共有していく。御利用者様に寄り添い柔軟な支援、多職種との連携を密にとり施設で抱え込まないようにする。	職員会議の中で質の向上を意識するよう話し合いを行っている。改善計画に対しても一過性で終わることのないよう永続的な課題として認識し、継続的に取り組んでいる。	職員は皆、努力して頑張っている。丁寧に接してくれるので、つい甘えてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックなど日々の声掛けに対する職員一人ひとりの意識の維持 ・自己研鑽の場として研修機会の付与
B. 事業所のしつらえ・環境	御利用者様に居心地の良い工夫の実施(昼休憩、散歩等)。引き続き清潔感ある事業所、地域に開かれた事業所を目指します。	清掃と消毒により清潔感ある環境を維持できている。気兼ねなく来訪してもらえるよう敷居を低くしていくことは課題として認識している。	コロナ禍以降なかなか訪問できていないので詳しい様子はわからないが、きれいで明るい。天井が高くドーム形式になっている。考えられてつくられていることを初めて知った。	家庭と変わらぬ環境の提供が目標。特に男性利用者にとって個別の活動と集団での活動のバランスを図れるよう利用者の意向把握を図っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策を取り、地域の方々の関わりが持てる様に、また、オレンジカフェ等に来て頂けるよう働き掛け交流を図っていきます。	オレンジカフェの開催により地域の多くの方々の来訪が実現している。	龍勢のお祭りのときにはトイレを貸すなど地域への貢献をしていた。	ゴスペルの歌唱、ハーモニカ演奏などのボランティアの協力を再開していく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>感染対策を取り、本人が楽しみを持てるような暮らしを支える取組みをしていきます。</p>	<p>日中は玄関の施錠をしない支援が実現している。感染症蔓延防止対策から地域イベントへの参加は減少している。</p>	<p>コロナ禍以降近隣保育所との付き合いが減っている。プレゼントを渡すなど短時間での交流もよいのではないか。</p>	<p>近隣保育所との交流が減っており、散歩や季節の行事を通して交流を再開していく希望をもっている。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>今後も運営推進会議を通して困難事例等の情報共有を図り、多職種の横断した連携に取り組んでいきます。</p>	<p>集合開催が再開されており、警察等地域資源の方々の参加が実現している。</p>	<p>運営推進会議を事業所内で開いて、様子を見てもらう機会にするのがよいのではないか、また老人会・町内会・サロン活動の方などを招待し、地域の高齢者とのつきあいを深くしてもよいのではないか。</p>	<p>区長など更なる招待の多様化により地域とのつながりを深めていくことを目標とする。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>今後、様々な災害がおこる可能性があることを想定して、関係機関とのさらなる連携に努めます。</p>	<p>取り巻く環境とリスクを把握し、法人との連携のもと対策を講じている。自然災害への対応計画も立案し、提出している。</p>	<p>火災など万一の事態の際には利用者の避難時に助けてあげたい。また水害等で避難所での難しい高齢者がいる場合は、援助してほしい。</p>	<p>夜間帯の職員配置が1名であるため、職員の不安考慮を必要としている。法人本部との連携、近隣住民との関係強化など継続して取り組む。</p>